



藤本 みのる 通信

Vol 221

2016年3月29日発行

大月市議会議員



自宅 大月市猿橋町小篠 8 5 3

電話/FAX 0 5 5 4 - 5 6 - 7 2 7 2

大月短期大学校舎について

私は大月短期大学校舎の木造新增改築に賛成の立場から本会議で賛成討論をしましたが、6対7で短大予算は否決されました。論点を深めるため、総務産業常任委員会が29日、道志村教育委員会と健康科学大看護学部校舎の視察研修を行いました。

道志村では小中学校合築の校舎を地元木材で木造建築することを決めるも、「国からの手厚い財政支援が見込めない」として、全体面積を縮小し構造を鉄筋コンクリートに変更。外壁を木質化した場合のメンテナンス料、村内では木材が集めきれないことなども変更理由にあげられました。

小中学校の校舎への補助金はRC・木造に限らず建設費の3分の1程度。道志村では村費負担を減らすために構造を変更し総工費を縮小させましたが、短大の場合は木造以外には補助金がないため、道志村とは事情が違います。外壁を木質化した場合のメンテナンス料の課題は、健康科学大のようにすれば抑えられると思います。課題がクリアできれば、木造校舎は間違いなくぬくもりと心地よさを感じさせてくれます。



健康科学大学看護学部1号館
木造2階建

面積	2400㎡
建設費	約10億円
木造補助金	約3億円
施工者	清水建設(株)

総務産業常任委員会で現地視察。大きな窓ガラスや白壁の内装から、木造を主張しすぎない所と、大きな屋根が印象的。メンテナンスが心配される外壁の木質化は一部で、全体的にスマートでした。

【藤本みのる活動日誌】

- 3月23日(水) 市議会本会議(最終日)、鳥沢小学校卒業式
- 3月25日(金) 無料法律相談会
- 3月27日(日) 富浜中学校閉校式、思い出を語る会
- 3月29日(火) 総務産業常任委員会行政視察(道志村教育委員会他)
- 3月30日(水) 臨時市議会(校舎建設予算を除いた短大予算の議決)